

第 2 回 阿南市在宅医療介護サービス事業所部会代表者会

- 開催日時：令和 8 年 10 月 20 日（火）10:00～12:00
- 参加者：
 - － 各サービス事業所部会代表者（グループホーム、居宅介護支援、通所・通所リハ・訪問リハ、養護・軽費老人ホーム、特別養護老人ホーム・老人保健施設、（看護）小規模多機能、訪問介護、お世話センター）
 - － 市職員（地域共生推進課長、介護保険課長、担当職員）
 - － 阿南市在宅医療・介護連携支援センター職員
- 議事録作成者：阿南市在宅医療・介護連携支援センター長

【要約】

本会議では、令和 8 年度の体制確認後、各サービス事業所部会より「日常支援、入退院支援、緊急時対応、看取り」の 4 つの場面における取り組み状況が報告されました。続いて、透析患者の送迎困難、身寄りのない高齢者支援、ケアマネジャーの訪問時安全確保、訪問介護の人材不足、総合事業の単価問題など、多岐にわたる課題が共有され、阿南市および関連機関との連携による解決策や今後の対応が協議されました。特に、情報共有ツールの活用推進や人材確保への支援が確認され、継続的な課題解決に向けた連携強化が図られました。

【議題 1：令和 8 年度体制について】

- 要点：
 - － 訪問介護部会代表者の退職に伴う変更。
- 決定事項：
 - － 上記代表者変更を承認。
- 対応予定：
 - － 修正された代表者一覧表を参加者へ後日送付。

【議題 2：各部会の運営状況および取り組み報告】

- 要点：
 - － 各部会は「4 つの場面」（日常支援、入退院支援、緊急時対応、看取り）に沿って活動状況を報告。
 - － 居宅介護支援事業所部会：
 - 緊急時の対応に注力。搬送時の付き添い問題、救急キット活用について議論。
 - 11 月 2 日に阿南市消防を招き、AED がない場合の対応方法等の講習及び意見交換を予定。

- **通所・通所リハ・訪問リハ部会：**
 - 入退院支援に注力。退院時カンファレンスへの通所介護事業所の参加機会の少なさ（加算対象外のため）が課題。
 - カンファレンスへの積極的参加と「バイタルリンク」（医療介護連携システム）の活用推進を決定。
 - 次回開催は2月上旬頃を予定。
- **養護・軽費老人ホーム部会：**
 - 日常療養支援：独居高齢者や身寄りのない方の増加に対応。
 - 入退院支援：情報シートの定着、カンファレンス機会の少なさが課題。
 - 緊急時対応：職員の同乗判断が施設により異なり、明確な基準やガイドラインの必要性を要望。
 - 看取り：基本的に施設で行うことはなく、「もしもの時のために」「たまたま箱」（身辺整理や終活支援）の活用推進に期待。
- **グループホーム部会：**
 - 緊急時対応：入院時連携シートの再確認。緊急時における対応について検討中。具体的な課題は次回開催時に報告予定。
- **小規模多機能部会（事務局からの報告）：**
 - 緊急時対応：救急医療情報キットの再確認。
- **訪問介護部会：**
 - 緊急時対応：救急車同乗不要・医療センターの付き添い不要の方針をヘルパー向けに周知し、対応徹底を再確認。
- **全体的な取り組み方針：**
 - 日常の療養支援および看取りは、現在いずれの部会も重点的に取り組む項目ではないが、今後重複する可能性も考慮。
 - 特養・老健部会には「看取り」への取り組みを依頼。
 - お世話センターは全ての「4つの場面」に取り組む。特に「見守りキーホルダー」や「支援ガイドライン」の推進を担う。
- **決定事項：**
 - 特養・老健部会は「看取り」に関する取り組みを開始する。
 - お世話センターは「4つの場面」全てについて取り組む。
- **今後の対応・アクションプラン：**
 - 各部会は、年度内に最低2回（居宅は3回、養護・軽費も3回を目標）の部会開催を目指し、2月の代表者会で取り組みをまとめる。

【議題3：各部会からの課題報告と協議】

3.1. 透析患者の送迎困難とサービス提供体制

- **課題：**
 - 小規模多機能部会、居宅介護支援事業所部会共通の課題として、透析患者の送迎を担う介護タクシーや一般タクシーの不足が深刻。

- 介護保険法上の制約により、複数人の同乗送迎が困難。
- 透析患者は今後増加が見込まれ、小規模多機能事業所への業務負担が集中している。
- **懸案事項：**
 - 現行の介護保険制度下では複数人送迎が難しい。
 - 透析患者受け入れが困難な場合、対応できる事業所が減る恐れ。
- **対応予定：**
 - **阿南市（介護保険課・地域共生推進課）：**市の状況を見ながら、介護保険制度改正や新たな送迎サービスについて検討。地域共生推進課で「乗り合いサービス」のモデル事業を検討中。
 - **事務局：**透析患者の困りごとに関するアンケートを再度実施し、実態把握に努める（コーディネーター部会と協力）。

3.2. グループホーム・小規模多機能の空き情報公開

- **課題：**
 - グループホーム、小規模多機能の空き状況の公開について、業務負担増や情報鮮度維持の困難さが指摘。
 - 阿南市のホームページで公開されている待機者数などの情報が、必ずしもリアルタイムではない。
- **懸案事項：**
 - 毎月情報更新する業務負担。
 - 情報が古くなることで、市民の問い合わせに対応できない可能性がある。
 - 他のサービス種別との公平性。
- **対応予定：**
 - **阿南市（介護保険課）：**来年度、広報を通じてグループホーム、小規模多機能など各サービス種別の内容を広く周知する方針。
 - **各部会：**情報公開の方法や簡素化について部会内で協議し、阿南市（介護保険課）へ意見を提出。
 - **事務局：**阿南市（介護保険課）と連携し、効果的な情報公開方法を検討。

3.3. ケアマネジャーの訪問時安全対策と身寄りのない高齢者支援

- **課題：**
 - **居宅介護支援事業所部会：**ケアマネジャーが訪問時に利用者・家族からの感情的な言動や事件に巻き込まれるリスクへの不安。防犯ブザーやカメラ、ボイスレコーダー等の活用が検討されている。
 - **身寄りのない高齢者支援：**キーパーソン不在による契約、保証人問題、金銭管理の困難さ。医療現場での意思決定支援が課題。独居高齢者の増加に伴い、この問題は深刻化。
- **懸案事項：**
 - 国からのケアマネジャー向け防犯対策補助事業があると言われているが、現時点では検討中である。

- 身寄りのない高齢者の意思決定支援、財産管理、死後の対応。
- 施設入所や手術同意における保証人の確保。
- **対応予定：**
 - **阿南市（介護保険課・地域共生推進課）：** 国からの補助事業に関するアナウンスがあれば速やかに情報共有。
 - **お世話センター：**
 - 身寄りのない高齢者支援に関する行政、民間、社協の取り組み事例を紹介。
 - 成年後見制度の活用促進を提言し、1月29日に「意思決定支援講演会」を開催予定。
 - ケアマネジャーのシャドーワーク（家族機能の代替）問題に対し、民間の身元保証サービスや社協の新事業展開に期待。
 - **事務局：** 身寄りのない高齢者支援に関して、阿南市における具体的な支援体制構築に向けた検討を進める。

3.4. 養護・軽費老人ホーム部会の運営と連携拡大

- **課題：**
 - **業務外業務の増加：** 家族不在により、施設職員が利用者の通院支援や行政手続きなど、本来業務外の業務を担うことが増えている。
 - **緊急時の職員同乗判断：** 救急搬送時の職員同乗の判断基準が不明瞭であり、施設として責任感から同乗せざるを得ない現状がある。病院での引き継ぎ待ち時間も課題。
 - **死亡者の財産処分：** 施設で亡くなった方の財産処分が困難なケースがある。
- **懸案事項：**
 - 養護・軽費老人ホームの制度的な特性上、多様な利用者のニーズに対応しきれていない可能性。
- **対応予定：**
 - **阿南市（地域共生推進課）：**
 - 11月に開催されるケアカフェにて、阿南市消防より救急搬送時の同乗判断基準や流れについて説明予定。
 - 来年度からの介護保険事業計画に合わせ、サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）も部会参加を検討。在宅医療・介護連携支援センターに協力依頼。
 - **事務局：** 居宅部会で養護老人ホームに関する勉強会を検討（入所手続き、費用、環境的要因の条件など）。

3.5. 通所・通所リハ・訪問リハ部会の経営・人材課題

- **課題：**
 - **バイタルリンクの普及：** まだ認知度が低く、普及促進が必要。
 - **事業所の経営・運営状況：** 物価高騰や人材確保の困難さにより、閉鎖する通所介護事業所も発生している。

- **食事代：** 物価高騰に伴い、食事代の変更を検討する事業所が多い。
- **人材確保：** 専門職を中心にスタッフ不足が深刻。部会や勉強会への参加も困難な状況。
- **総合事業の単価：** 要支援 1・2 の利用者は多いものの、単価が低く、収益に繋がりにくい。
- **ケアプラン連携データシステム：** 導入済み事業所と未導入事業所があり、普及促進が必要。
- **懸案事項：**
 - 阿南市医師会主導のバイタルリンクが福祉事業所にどこまで浸透するか。
 - 低い単価が事業所の存続を脅かしている。
 - 在宅系サービスは ICT 補助金の対象外で、システム導入の費用負担が大きい。
- **対応予定：**
 - **通所・通所リハ・訪問リハ部会：**
 - バイタルリンクの普及を部会活動として促す。
 - 各通所事業所の食事代を再調査し、一覧表を更新・共有する。
 - 求人マッチングサイトやスポットワークの活用を検討。
 - **阿南市（介護保険課）：** 総合事業の単価見直しについて、第 10 期介護保険事業計画策定時に真摯に検討。
 - **阿南市（介護保険課）：** 11 月 6 日にハローワークと連携し、介護人材確保のための「介護の未来につなぐ」就職フェアを開催。
 - **阿南市医師会：** 1 月からバイタルリンクの管理者が阿南医療センターから阿南市医師会へ移行後、福祉事業所への普及促進について市と連携。

3.6. 訪問介護部会の人材不足と ICT 活用

- **課題：**
 - **部会出席率の低さ：** ヘルパーの高齢化、サービス提供責任者（サ責）や管理者の多忙化により、部会参加が困難。
 - **人材不足：** 訪問介護のヘルパー確保が最も深刻な課題。
 - **特定事業所加算と ICT 活用：** 加算要件を満たすための業務が多く、ICT 活用が不可欠だが、小規模事業所には初期投資の負担が大きい。
 - **ICT 補助金対象外：** 在宅系サービス（訪問、通所）は ICT 補助金の対象外。
- **懸案事項：**
 - 訪問介護事業所の今後のサービス継続が危ぶまれる。
 - ICT 導入による業務効率化が進まない。
- **対応予定：**
 - **阿南市（介護保険課）：** 11 月 6 日の就職フェアを通じた人材確保支援を継続。
 - **訪問介護部会：** 訪問介護の魅力を発信し、人材確保に努める。ICT 活用に関する情報共有や、安価で簡単なシステムの導入を検討。

- **事務局**：在宅系サービスへの ICT 補助金適用について、阿南市を通じて国に要望を検討。

3.7. お世話センターの機能とケアマネジャー不足

- **課題**：
 - 阿南市ではケアマネジャーが不足しており、特に新規の利用希望者がケアマネジャーを見つけるのに苦慮している。
 - お世話センターが公平性の観点から特定の事業所を紹介しない方針のため、利用者が自力で事業所を探す負担が増大している。
- **懸案事項**：
 - 利用者が必要なサービスを迅速に受けられない。
 - ケアマネジャーの業務負担が増加。
- **対応予定**：
 - **阿南市（地域共生推進課）**：お世話センターの運営方針について、利用者の利便性やケアマネジャーの負担軽減を考慮した改善策を検討。
 - **事務局**：お世話センターの現状と課題を共有し、今後の連携方法を協議する。

3.8. その他

- **BCP（事業継続計画）・災害時の体制**：医療側から、阿南市へ災害時体制の強化を求める意見があり、福祉分野にも反映できるよう検討される。
- **在宅医療のホームページ更新**：掲載されている各種事業所、薬局、病院、歯科の一覧表を定期的に更新し、市民やケアマネジャーに最新情報を提供する。
- **連携相談シートの活用**：在宅医療介護連携支援の相談シートを統一し、メールでの活用を推奨。業務効率化と情報共有の精度向上を図る。

